

十二月 除夜の鐘

当寺は梵鐘が壊したので鐘を撞く事ができませんがテレビにより全国津々浦々の銘鐘の音を聞く事ができます。この除夜の鐘百八声の意味はもともと寺では区切りの合図等に用いられた事から一年の総決算の意味が加味されそこに佛教の説く「百八煩惱」を当てはめたもの百八声の鐘の音は「百八煩惱の情眼」を醒す事なのです。百八煩惱を六通りに集約した十八煩惱について記します

貪(むさぼり)。瞋(いかり)。痴(おろかさ)。慢(うぬぼれ)

疑(うたがひ)。見(かたよつた見解)。念(内面のいかり)

恨(うりや)。覆(いわけ)。悩(決まらな)。慳(ものおしめ)

憍(おごる)。害(思ひやりがな)。嫉(おたけ)。無慚(自念に

恥じた)。無愧(他にはじない)。誑(あざむく)。詔(へつらう)

自己診断し鐘の声と共に新たな誓いをしましょう

除夜の鐘 わが煩惱を 洗ふこと (木村道子氏)

新年の法要は元日午前十時より修します

檀家の皆様ご近所の皆様ぜひご参加下さい

二月 除夜の鐘

当寺は梵鐘が無いので鐘を撞くことができませんが、テレビにより全国津々浦々の名鐘の音を聞くことができます。この除夜の鐘百八声の意味は、もともと寺では区切りの合図等に用いられた事から、一年の総決算の意味が加味され、そこに佛教の説く「百八煩惱」を当てはめたもの。百八声の鐘の音は「百八煩惱の惰眼」を醒する事なのです。百八煩惱を六通りに集約した「十八煩惱」について記します。

貪とん（むさぼり） 瞋じん（いかり） 痴ち（おろかさ） 慢まん（うぬぼれ）

疑ぎ（うたがい） 見けん（かたよった見解） 忿ふん（内面のいかり）

恨こん（うらみ） 覆ふく（いいわけ） 惱のう（決心がつかない） 堅けん（ものおしみ）

僞ぎよう（おごる） 害がい（がい） 嫉しつ（ねたみ） 無慚むざん（自分に恥じない）

無愧むき（他にはじない） 誑おう（あざむく） 諂てん（へつらう）

自己診断し鐘の声と共に新たなる誓いをしましょう。

除夜の鐘 わが煩惱を洗うごと（木村道子氏）

信念の法要は、元旦午前十時より修します。

檀家の皆様ご近所の皆様ぜひご参加下さい。

住職 仁阿